

公表	事業所における自己評価総括表		
----	----------------	--	--

○事業所名	放課後等デイサービス マルクスコラはなみずき教室		
○保護者評価実施期間		2025年9月24日	～
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間		2025年9月24日	～
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	固定化しないプログラムの提供	・利用している生徒さんから希望のプログラムの聞き取りと実現を行い、月に1度のスタッフ内のカレンダー会議でプログラム作成を行っている。	・個別支援計画書の内容にも照らし合わせたプログラム立案と生徒さん、保護者様へご提案ができるように5領域により即した内容を準備していく。
2	関係機関との関係構築	・相談員支援専門員、学校、放課後等デイサービス等、利用者さんに間わり関係機関との支援会議等を積極的に実施を行った。 ・放課後等デイサービスとは、事業所交流イベントを企画し実行することを行った。	・関係機関との連携や放課後等デイサービスとの交流は継続していき、ご本人さんにとってよりよい教育、療育が受けることができるよう統一した支援が提供できるよう行っていく。
3	教室内勉強会、研修会の実施	・スタッフ内で月に1度は必ず支援会議を行い、個別事例検討や各委員会（感染症、虐待防止等）に関する勉強会の実施を行った。	・さらなる強化に向け、年間スケジュールを計画し実際の現場においてより実践できるように研修体制を刷新し支援力アップに向けた実施を行っていく。 ・外部研修にも参加し、支援の視野を広げていくことを目的として知識の幅を広げていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一人一人に合わせた支援の提供。 ➡特性上、状況によって大きな声を出してしまう生徒さんへのサポートが不足している。 ➡結果的に、利用している生徒さんからしんどいという声も頂くことがある。	・参加される生徒さんの状況を見た職員の配置数が適切ではないときがあった。（法的な人員配置は守られているが） ・支援の在り方として事象前に「〇〇になるかもしれない」といった意識が薄い。	・利用状況をみて、極力「安全にすごせる」ことをポイントに配置数に関しては、見直しを月ごとに行っていく。 ・教室での支援会議を通じて、トラブル等の危機管理能力を高めることができる機会を準備していく。 ・支援提供前の会議（朝礼等）にて起こりうるリスクやトラブル等をより協議し、方法・手段について詰めていくように行う。
2	保護者様同士で交流できる機会を持つことができていない。	・進路相談会を3.4ヶ月に1度開催はしていたが、お子様も参加可能であった内容であったため、保護者様同士で交流できる機会は持てなかった可能性がある。	・保護者様を対象したお悩み相談会をスタッフだけではなく、他の保護者様同士で交流が持つことができる内容を準備していく。
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会をとることができていない。	・ペアレントトレーニングに関する知識をもった職員がない。 ・上記の研修に参加ができていない。	・まずは外部研修等でペアレントトレーニング等、家族支援ができるように知識を身につけることができるよう参加を行っていく。 ・研修等で学んだことを、保護者様勉強会という形で提供していく。